

■ 附属中入試対策講座の日程

月	日程	内容	月	日程	内容
4月度	4/12(日)	授業①	8月度	8/30(日)	授業⑨
	4/19(日)	授業②		9/6(日)	第2回附属中模試
	4/26(日)	附属中模試練習会		9/13(日)	授業⑩
5月度	5/10(日)	授業③	9月度	9/23(水祝)	授業⑪
	5/17(日)	授業④		9/27(日)	授業⑫
6月度	5/31(日)	授業⑤	10月度	10/4(日)	授業⑬
	6/14(日)	第1回附属中模試		10/25(日)	授業⑭
	6/21(日)	授業⑥	11月度	11/3(火祝)	第3回附属中模試
7月度	7/5(日)	授業⑦		11/8(日)	授業⑮
	7/12(日)	授業⑧		11/15(日)	授業⑯
7月度	7/19(日)	入試問題練習会	12月度	11/22(日)	授業⑰
				11/29(日)	授業⑱
				12/6(日)	大勉強会

■ 附属中入試対策講座の詳細

- 会場** 能開センター新潟校・能開センター青山校
- 授業時間** 新潟校 9:00~11:50 青山校 10:00~12:50
- 受講費用** 能開センター・個別指導Axis通常授業受講の方 14,300円/月
 附属中対策講座のみ(単独)受講の方 16,500円/月+3,190円/月(教育関連諸費)
 ※単独受講の方は入会金(22,000円)が必要です。
 附属中模試の費用は別途必要になります。
- 模試費用** 附属中模試(国語・算数) 附属中対策講座を受講の方 4,950円
 附属中対策講座を受講されていない方 5,500円
 中学受験実力判定模試 通常授業・附属中対策講座を受講の方 3,300円(2科)
 ※時間などは別途ご案内いたします。
 附属中対策講座を受講される方はどちらの模試も必須受験となります。
- テキスト費** アインストーン(国語・算数) 1,815円×4科目(価格は変動する場合がございます)
- お申込み方法** 能開センター・個別指導Axis通常授業受講中の方は、附属中対策講座用の申込書をご提出ください。
 附属中対策講座のみ(単独)を受講される方は、通常授業用の申込書(複写式)をご提出ください。
- その他** 受講資格は、附属新潟中学校を外部受験される方のみとなります。
 ※附属小学校生(連絡入学生)の方は、イベントや附属中模試、夏期講習、盆特訓、秋特訓などにご参加できます。
 能開センター・個別指導Axisの会員生は附属中模試の受験も可能です。一般の方は6月のみ受験可能です。
 附属中入試対策講座で使用する教材は校舎で保管させていただく場合がございます。
 附属中入試対策講座のみを受講されている方も受講校舎の自習室を利用することができます。

能開センター-新潟校

〒950-0088 新潟市中央区万代3-4-31
 TEL 025-245-3328

受付時間

[火~金] 14:30~21:00
 [土 日] 9:00~20:00



能開センター-青山校

〒950-2003 新潟市西区東青山1-5-6
 TEL 025-201-5011

受付時間

[火~金] 14:30~21:00
 [土] 10:00~20:00
 [日] 10:00~18:00



能開センター 個別指導 **Axis**

新潟校
 青山校

新潟大学附属新潟中学校

入試対策講座

令和8年度入試実績

16名

外部受験合格者
 (学部受験者合格者34名中)

2026年度は
**4/12(日)より
 開講!**



令和7年度入試(令和6年度小学6年生)より新大附属中の募集定員が**120名から105名に削減**されました。十分な対策を講じるために早めのスタートが大事です。

■ 講座概要

この講座は附属新潟中学校の入試を突破するために必要な実戦演習に特化した講座です。

附属新潟中の受験科目は「国語」「算数」「面接」です（「総合」は令和7年度入試まで）。

各科目の試験内容を豊富なデータより予想し、実戦力をアップさせます。

受験のために「記述力」と「論理力」をアップできるように一人ひとりに適切な指導・演習・サポートを提供します。

■ 講座のねらい

宿題は「毎週回収」し
「添削指導」も行います。



『解答力』と『分析力』を身につけ、『実戦力』で合格する！

<p>前期 4月～7月</p> <p>「演習」+「解法指導」 解答作成の基本</p>	<p>後期 8月～12月</p> <p>「模試」の反復 説明力と記述力で得点力アップ</p>
---	---

■ 各科目のポイント

- 国語** 読解力に加え、とにかく「書く」ことを要求されます。「書く」ことに慣れ、「論理力(論理的に読み、書き、伝える力)」も鍛えます。
- 算数** 魔法陣を埋めたり、規則性を書き足したりする「作業力」「試行力」を鍛え、書き出す中でヒントを見つける「見通し力」を身につけます。
- 面接** 自分の中の倫理観や長所・短所をしっかり把握し伝えることが大切です。ディスカッション・スピーチ・個人練習など「伝える力」を伸ばします。

■ 中学入試分析会

前年度の入試問題を中心とした過去のデータを踏まえ、皆さまに有益な情報をお伝えしていきます。対象の中学は、新潟大学附属新潟中学校、明訓中学校、第一中学校となります。

6/14(日)

- 中学入試のしくみ ・ 出題傾向と対策
- 能開センター、個別指導Axisでの取り組み など

会場・時間 HPやメール等にてお知らせします



■ 新潟大学附属新潟中模試

近年の過去問題を参考に、能開センターが独自に作成した「国語」「算数」2科目の模擬試験です。過去のデータを参考にした判定も出ます。



第1回 **6/14(日)** 第2回 **9/6(日)** 第3回 **11/3(火)祝**

会場・時間 HPやメール等にてお知らせします

■ 2025年度 受講生の声



理解の整理

私は算数、特に図形問題が苦手でした。補助線を引いたり、記号を使う問題が出てくると、どうしたらいいのかわからなくなることがよくありました。小6の秋ごろ、「苦手教科を克服するぞ!」と思い、いろいろなテキストで復習をしました。2週間ほど、同じ問題を繰り返しやってみたり、わからなかった問題の解説を何度も読み直し、自分が理解できているかをよく確認しながら取り組みました。すると、自力で少しずつ解けるようになっていきました。1か月ほど経ったころには、算数の成績を以前よりもぐんと伸ばすことができました。

添削・質問の大切さ

私は国語の記述問題に苦手意識がありました。そのため、テストや模試の記述問題で満点をとれることがほとんどありませんでした。でも、附属新潟中学校の入試問題には記述問題がたくさんあり、文字数も多いと聞いていたので、真剣に国語の記述に取り組むようにしました。小6の8月ごろまでは問題集を解くだけでしたが、9月になり先生から克服方法を教えていただき、添削や質問を積極的に利用するようになりました。模試でできなかったところを何度も添削に出し、解答例に近づけていきました。また、質問もたくさんし、一度聞いてわからなかったところは何度も先生に質問しました。

■ 2025年度入試 受験生のアンケートより

- 国語**
 - 過去問と同じような問題が出た。記述は多くても80字程度で時間内に解くことができた。
 - 自分の意見を書く問題があった。本文と結び付けて書くことが必要だった。
- 算数**
 - 過去問や附属中模試と出題形式は同じだった。
 - 最後の図形を使った規則性の問題が難しかった。授業や模試で手を動かすことや、どんどん書いて規則を見つける練習をしていた良かった。
 - 算数大全(能開テキスト)と似たような問題が出た。基本的な問題もあり解けた自信があった。
- 面接**
 - 面接の最初に「リラックスしてください」「質問には45秒程度で答えてください」と言われた。
 - 2人の面接官が交代しながら質問をしたり時計で計ったりしていた。
 - 答えたことに対して、追加で2～3個くらい深掘りする質問があった。

■ 2025年度入試 保護者の感想より

先生方の丁寧で温かなご指導に感謝して

能開センターに通い始めてから、娘は自分から進んで勉強に取り組むようになり、「わからなかったことが分かる」楽しさを知ったことで、勉強にどんどん前向きになっていきました。先生方の指導がとても丁寧で温かく、先生たちと関わることで自体にも楽しさを感じていたようにも思います。受験対策もひとつひとつが分かりやすく、刺激的で、学びたいがんばりたいという気持ちを引き出していただきました。(中略)娘にとって能開に通うことが楽しみな時間になっていたようです。ありがとうございました。

